

防コミの歩き方



兵庫区防災福祉コミュニティ懇談会開催

●兵庫区防災福祉コミュニティ

兵庫区の防災福祉コミュニティは17地区あり、平時から地域における訓練や交流を重ねて顔の見える関係を築き、災害時の迅速な対応の強化を図っています。しかし、兵庫区は津波や浸水が懸念される海側の地域、主に土砂災害が懸念される山側の地域、それら地域の間位置し河川や内水氾濫などが懸念される中地域と大きく3つに分かれているため、想定される災害や抱える課題はそれぞれの地域で異なります。そのため、防災福祉コミュニティ間の連携、親睦等の場を要望する声がありました。

●兵庫区防災福祉コミュニティ懇談会の成り立ち

昨年秋、地域を支援する兵庫地区防火安全協会の発案により、和田岬校区防災福祉コミュニティ執行委員長を世話人として、区内17の防災福祉コミュニティの横の繋がりを深めるべく、兵庫区防災福祉コミュニティ懇談会を開催する運びとなりました。また、各地域を担当する消防団が参加し、地域を守る体制の強化、向上を図る会となりました。

当会は、忌憚のない話も交え、それぞれの地域

の問題や課題、その解決策を話し合うなど、防災福祉コミュニティ間の親睦を深めるべく、開催することとなりました。

●開催状況

第1回目は、それぞれの地域の良いところ、悪いところをテーマに、海側、山側、中地域に分かれ話し合われました。どの地域も防コミの高齢化や訓練参加者の減少といった問題が多く、訓練のあり方や喜んで参加してもらえ活動内容などについて、活発に意見交換をされました。

第2回目は、主に訓練について、話し合われました。訓練の課題だけでなく、各地域の様々な取り組みや活動を知ることが出来ました。

第3回目は、カードゲーム型の防災訓練教材「ダイレクトロード」が行われました。これまでの親睦の成果を発揮し、見事な連携により、時間内に達成されていました。

●さいごに

懇談会は、今後も継続的に開催することで、地域間の親睦、連携がますます強固なものとなり、訓練等の平時の活動だけでなく、災害現場においても発揮される取り組みであると感じています。

(兵庫消防署消防防災課 福田一徳)

